



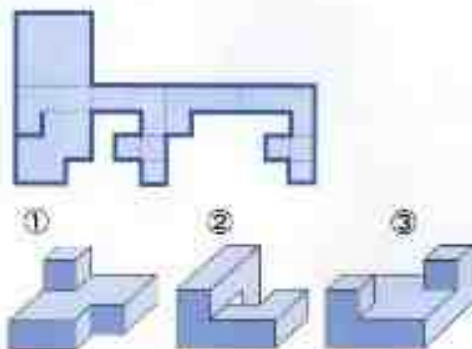


高橋  
先生の

# 実験算数脳!!

## 今月の一題

**Q** 右の展開図を組み立ててみると、  
①～③のどの形になるでしょうか？  
頭の中でイメージしてみましょう。



## ポイント解説



中学受験では、型にはまった解き方を覚えるだけでは通用しない「頭の良さ」を問う問題が増えています。その一つが図形問題です。この問題のように、ある図形の展開図だけを見て完成図をイメージすることが要求されるといったものがそれです。

立体をイメージする力を「空間認識力」といいます。「空間認識力」は計算ドリルをたくさん解くだけでは身につけません。実際に「体験」するしかないのです。実際に展開図を組み立てて立体を作った経験が大事なのです。立体作りを繰り返すことで、様々な形の立体も頭の中で自由に動かすことができるようになります。

## 今月のおすすめ! BOOK

### 算数脳ドリル

#### 立体王 びっくりてんかい図

複雑な「展開図」を組み立てて立体を作る体験をすることで、空間認識力をはぐくむ。組み立てることができた時の達成感は、子どもたちの算数への学習意欲を高める。  
(学研、1,050円)

### 5人にプレゼント!

「立体王 びっくりてんかい図」のプレゼント応募者は、ほかにも自主・任意で応募を募り、7/100-0001 毎日新聞社 月刊Newsがわかる! 算数誌5月号プレゼント抽選にて5月10日まで応募してください。応募多数の場合は抽選となります。



## 今月のこたえ



**A** 正解は②です。  
たまたま立方体であれば、展開図から完成図をイメージすることは簡単ですが、この図をバツと見ただけでイメージすることは大人でも難しいでしょう。まず、展開図を見て、どの部分がどことくっつくのかをイメージしながら、

出来上がりを想像してみます(左上の図では展開図のくっつく辺と立体になった時の辺を同じ記号で表しました)。そして、実際に展開図を組み立ててみると良いでしょう。イメージしたことを、立体作りを通じて検証していくわけです。

## 高橋正伸プロフィール

1959年熊本県生まれ。東京大学法学部卒業。93年「花まる学習会」、96年「スクールFC」設立。現在「花まるグループ」代表。98年算数オリンピック委員に就任。「小学生」に在った「算数脳」(健康ジャーナル社)など著書多数。

**花まる学習会** 無料体験、随時受け付け中  
志者か・面談か・野外体験を1本柱に、13歳まで「経験・理解・楽しさ」と多角的な学習と算数脳をはぐくみます。  
北海道048-835-5670  
<http://www.honemaru-group.jp/>

**School FC** 少人数級算数の資格講師!  
【2017年4月入塾】スーパー算数成績23人中19人が算数大会優勝・準優勝3名と数回出場に合格!  
代表電話048-064-0001  
<http://www.schoolfc.jp/>

